

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化管外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2015年5月 福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 主任教授
河野 浩二

【研究課題名】

上部消化管癌における分子マーカーとしての遺伝子・マイクロRNA異常およびタンパク・糖鎖発現異常の検索と臨床病理学的意義の解明

【研究期間】 2015年5月～2025年4月

【研究の意義・目的】

上部消化管である食道・胃は異なる背景因子や分子メカニズムによりそれぞれ食道癌・胃癌、あるいは食道胃接合部癌の発生母地となります。本邦では胃癌にかかる頻度は減少傾向ではありますが、胃癌による死亡率は全がんのなかでも第2位をしめておりとても重要な癌と言えます。食道癌は胃癌と比較すれば発生頻度は高くないものの、リンパ節転移頻度が高くいまだ死亡率の高い消化器癌のひとつです。今後は上部消化管癌（食道癌、胃癌）の患者さんひとりひとりが、いかに効果的で安全に、個別化された医療（個々の癌の分子生物学的特性に合わせた最適の治療を選択すること）を受けられるかが重要であると考えています。そのためには治療選択の指標となる分子マーカーの開発が期待されます。上部消化管癌検体において、分子マーカーの候補となるような遺伝子・マイクロRNA異常やタンパク・糖鎖発現異常と臨床因子や予後との関連について検討します。

【研究の対象となる方】

- ・ 1990（H2）年1月1日以降に上部消化管癌に対し手術を受け、本学に手術標本が保存されている方。
- ・ 先行研究「ゲノム解析に基づく消化器癌の発生・進展・転移の分子機構の解明」で同意が得られた方。
- ・ 研究期間内に当施設に受診・入院し、手術適応となる上部消化管癌の患者さんのうち、研究参加の同意が得られた方。

【研究の方法】

試料は手術または生検で採取された検体の残余組織を使用するため、新たに切除や検査を行う必要はありません。その試料を用いて、食道癌または胃癌に特徴的な遺伝子・マイクロRNAの異常やタンパク・糖鎖発現異常について調べ、臨床情報との関連を解析します。

収集する臨床情報には後述のような一般的な臨床病理学的因子が含まれます。年齢、性別、既往症、家族歴、生活歴（飲酒・喫煙歴・ヘリコバクターピロリ菌感染）、BMI、診断確定日、術前細胞診・組織診結果、手術実施日、Performance status、腫瘍マーカー値および一般血液検査値とその推移、術式、腫瘍径、病変部位、病理組織像、深達度、リンパ節転移、他臓器転移や播種性病変の有無や部位、検出された遺伝子変異・遺伝子増幅・遺伝子発現異常の有無、EBV感染の有無、臨床病期、脈管侵襲、手術合併症、術前・術後治療（化学療法・放射線治療）の有無と内容、再発の有無、再発の確認日と部位、再発に対する治療（手術、化学療法、放射線治療）の有無と内容、治療による有害事象の有無と程度、治療による効果判定、治療経過における病勢の進行確認日、転帰（全死亡、癌死、死亡日）。

【研究組織】

(所屬)	(職)	(氏名)
消化管外科学講座	主任教授	河野 浩二
消化管外科学講座	講師	岡山 洋和
消化管外科学講座	博士研究員	大木 進司
消化管外科学講座	病院教授	門馬 智之
消化管外科学講座	准教授	三村 耕作
消化管外科学講座	准教授	佐瀬 善一郎
消化管外科学講座	講師	齋藤 元伸
消化管外科学講座	博士研究員	遠藤 久仁
消化管外科学講座	准教授	中嶋 正太郎
消化管外科学講座	博士研究員	藤田 正太郎
消化管外科学講座	講師	坂本 涉
消化管外科学講座	博士研究員	早瀬 傑
消化管外科学講座	学内講師	花山 寛之
消化管外科学講座	学内講師	小野澤 寿志
消化管外科学講座	博士研究員	渡辺 洋平
消化管外科学講座	博士研究員	多田 武志
消化管外科学講座	助教	菊池 智宏
消化管外科学講座	助手	楡井 東
消化管外科学講座	助教	芦澤 舞
消化管外科学講座	博士研究員	菅家 康之
消化管外科学講座	博士研究員	山田 玲央
消化管外科学講座	博士研究員	松本 拓朗
消化管外科学講座	博士研究員	遠藤 英成
消化管外科学講座	博士研究員	仲野 宏
消化管外科学講座	助教	金田 晃尚
消化管外科学講座	病院助手	伊藤 美郷
消化管外科学講座	大学院生	片方 雅紀
消化管外科学講座	病院助手	深井 智司
消化管外科学講座	大学院生	佐藤 孝洋
消化管外科学講座	大学院生	佐久間 芽衣
消化管外科学講座	助手	園谷 秀哲
消化管外科学講座	病院助手	松石 彬
消化管外科学講座	病院助手	叶多 諒
消化管外科学講座	病院助手	丸山 裕也
消化管外科学講座	専攻医	望月 翔太郎
消化管外科学講座	専攻医	林下 宗平
消化管外科学講座	大学院生	Prajwal Neupane
消化管外科学講座	専門医療技師	齋藤 勝治

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当 岡山洋和
 電話:024-547-1259 FAX: 024-547-1980
 E-mail:okayama@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当 岡山洋和

電話:024-547-1259 FAX: 024-547-1980

E-mail:okayama@fmu.ac.jp

